

八千代市長選挙を終えて

この度の八千代市長選挙では、私が所属する会派、市民クラブから風よしたか議員、元議長、大塚ゆづし議員、元地方創生委員長、そして市民クラブのOBである服部ともの元県議が出馬し、現職であった秋葉市長、屋敷とき、元市議も立候補する展開となりました。結果は皆さんご存知の通り、服部ともの新市長が誕生するということになりました。応援して頂いた方々に御礼申し上げます。

また私が議員として本当にお世話になった風議員、大塚議員を応援して頂いた皆様、この二人が間違いなく秋葉市政に対し「NO」を突き付け先頭に立って市政運営に篤い思いで携わってくださったことは間違いありません。

市長選挙に立候補するということの覚悟は私などでは想像も出来ない位の覚悟が必要なことでしょう。保守が割れたことに様々な指摘を頂くことがありますが、人生をかけて八千代市の発展に手を挙げた篤い思いは否定出来る事ではありません。出来る事ならもう一度この一人と共に議会で汗をかきたいと心から願っております。服部新市長には今回出馬した全ての候補者の思いをしつかりと受け止めて頂き議会も一丸となつて八千代市政の繁栄を遂げるということが出来るよう微力ながらも全力でサポートして頂く所存でございます。

八千代市の課題とは？

現在、八千代市が抱えている課題とは大きく掲げて次のようなものがあります。

市庁舎建て替え工の手法

待機児童対策

既存施設の改修と再配置

団地を初めとする高齢化した地域の対策

女性が挙げられます。

市役所本庁舎の建て替え工

個人的な案ですが、愛知県の高浜市の市役所本庁舎は市の土地を民間に無償供与し建物は民間が建て高浜市が建物の一部を借上げるといった方式です。民間の自由な発想で市庁舎内に貸店舗ブースを設けることで高浜市以外からも家賃収入を得ることが出来ます。また八千代市においては教育委員会や水道局が市役所本庁舎とは別となつており、これから同庁舎化する中でその他の施設の改修工事費用を軽減する事が出来るものと考えます。

待機児童対策

全国各地で待機児童問題が騒がれておりますが本市も例外ではありません。保育園の数が足りないのは勿論のことですが、保育士の確保も難しい状況となっております。近隣他市では独自の保育士給与の補助や元保育士への声掛け、保育資格取得の補助など様々な取り組みがされている中、本市でもスピード感を持って対応するよう3月の定例会では私から予算案の修正を提案させて頂き全会一致で可決承認の運びとなりました。また新たな建物を建設するだけではなく、既存幼稚園の認定こども園の移行による保育の受け入れ拡充や既存保育園の受け入れ拡大も同時に進めていかなければなりません。喫緊の課題として取組中であります。

既存施設の改修再配置工

教育委員会庁舎や水道局庁舎は勿論のこと阿蘇米本地区では小学校の統廃合が行われる予定です。市役所本庁舎の合同庁舎化でワンストップサービスを進めながらも本市の財産でもある建物が有効利用できるように様々な自治体の先進事例を研究調査しております。続きは次回のレポートでお届け致します。

追伸

季節の変わり目に体調を崩さぬように自愛ください。



市政報告

おざわこうじ

平成29年度 3月議会

～市役所本庁舎建て替えと
待機児童対策について～

みんなの一步が八千代を変える

2017年 Vol.7 {討議資料}

おざわこうじと八千代の明日を語る会 発行

活動報告



八千代市の平戸地区の森の整備をしています。新川の近くでロケーションもバッチリ！地主さんも高齢で管理することが大変だそうです。何か有効活用が出来ないものか？と思い里山むつみ隊の方にアイデアを頂きながらの伐採作業。いろいろな課題が見えてまいりました。私が所属している商工会議所青年部も新川周辺の賑わいを創出するために構想を練っています。周辺自治体と一緒にかわまちづくりなど八千代市の魅力を創造していけるように本市にも働きかけているところです。もしかしたら船着き場が出来るかも？地域の皆さんの声を最大限に反映して市政に取り組んでまいります！皆さんのアイデア募集中！！

HP <http://ozawa-koji.jp/>

FB <https://www.facebook.com/koji.ozawa.75>

お問合せ先 090-7198-4472

追伸 公職選挙法によりお手紙などで御挨拶は出来ませんが季節も変わり環境の変化などで体調を崩さないように身体にはご自愛ください

活動報告



千葉県知事選挙で森田健作候補を応援させて頂きました！見事に当選。ありがとうございました！

三月定例会の予算委員会において待機児童対策などの予算が充分ではないと判断し議案を否決し修正案を提出させて頂きました



2月に次女が1歳を迎えました。写真は一升もちを背負う儀式にチャレンジ。泣きながらも背負うことが出来ました

習志野第一空挺団の記念式典に参加させて頂きました。強風の中、頭上を落下傘が降下していききました。相当な訓練を積んでいるそうです。365日24時間この国を守って頂いていることに改めて感謝です。

